

入局者自己紹介



家村 紗子

出身大学：
山梨大学

卒業年：
平成 28 年

初期研修病院：
東京医科歯科大学プログラム



池田 翔

出身大学：
富山大学

卒業年：
平成 28 年

初期研修病院：
土浦協同病院

平成30年に入局させていただきました家村綾子と申します。平成28年に山梨大学を卒業し、初期研修医は東京医科歯科大学プログラムⅠで1年目は東京医科歯科大学医学部附属病院、2年目は土浦協同病院で研修させていただきました。2年目の土浦協同病院では、一般小児診療の他NICUでも研修をさせていただき、たくさんの経験が小児科の道に進む大きなきっかけとなりました。入局後の後期研修1年目は東京医科歯科大学附属病院で勤務させていただき、貴重な症例や、たくさんの素晴らしい先生との出会いがありました。後期研修2年目の4月からは東京ベイ浦安・市川医療センターで多くの臨床経験を積ませていただいています。上級医の先生方には優しく熱心にご指導していただき、さまざまな患者さんやご家族からも多くを学ばせていただいています。

まだまだ未熟者ではありますが、初心を忘れず日々努力していきたいと思いますので今後ともご指導の程お願い申し上げます。

平成30年度より入局させていただきました池田翔と申します。

もともと子どもが好きであったことから、医学部に入る前から小児科を志望していました。富山大学医学部へ進学し、冬になると毎日のように雪かきをして、凍えるような寒さに震えながら通学していました。部活はラグビー部に所属して、毎日泥んこになりながらスクランブルを組んでいました。振り返るとなかなかハードな生活だったとは思いますが、そのおかげか多少の打たれ強さは身についたような気がします。そんな6年間を過ごした後に茨城に戻り、土浦協同病院で初期研修をさせていただきました。そして、縁あってこの度入局させていただくことになりました。

後期研修1年目は大学で勉強させていただき、専門性の高い医療に関わる毎日を送ることができました。各診療グループの先生方に優しく丁寧に教えていただきながら、難治症例や希少疾患に多く触れることができたのは本当に貴重な経験だったと思います。

現在は草加市立病院で働かせていただいており、大学とはまた違った環境で一般診療に携わりながら学ばせていただいております。初めて自分の外来を持ち、入院したお子さんの主治医となり、他科・他病院からのコンサルトにも一人で応対することになり、やれることが増えた分だけ小児科医としての責任・重圧を感じることも多くなりました。それと同時に、熱心な先生方のご指導のもとで診療経験を積み、子どもたちが笑顔で退院していく姿にやりがいを感じる充実した日々を送っております。

まだまだ至らない部分が多くご迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



一木 洋祐

出身大学：
浜松医科大学

卒業年：
平成 28 年

初期研修病院：
草加市立病院



金房 雄飛

出身大学：
高知大学

卒業年：
平成 28 年

初期研修病院：
伊勢原協同病院

平成30年度に入局させて頂きました一木洋祐と申します。

初期研修では地元の草加市立病院で研修させていただきました。学生時代より小児医療をやりたいという淡い気持ちを抱いていましたが、研修では成人領域を含めて実際の医療を経験したうえで診療科を決めようと考えていました。草加市立病院で小児科の初期研修をさせていただき、小児患者さんを治療する楽しさややりがい、学問としての面白さを実感し、小児科へ進むことを決めました。同院もほとんどの先生方が医科歯科大学の医局に所属されており、草加の先生のように専門分野関係なくなんでも診られる小児科医になりたいと考え、医科歯科大への入局を決めました。

後期研修に入ってからは特に症例数の多い土浦協同病院での研修を希望し、採用いただけることとなりました。特に初期研修医時代に苦手意識が強かった新生児医療を初期研修中にしっかり学べることを希望し新生児科にも9か月間携わらせていただきました。小児科・新生児科どちらの科の先生方も慣れない私に親身にご指導いただき、自分自身も様々な勉強の機会と経験を頂けたことを大変感謝しております。まだまだ小児科医としての知識や経験は微塵なレベルとは存じますが、これからのかつ難を想像すると不安でもあり楽しみであります。その分勉強を続けていかなければならないと痛感する日々です。

人間的に未熟な部分があり、これからもご迷惑をおかけしてしまうことが多々あるかと思いますが、1日でも早く一人前の小児科医になれるよう精進してまいりたいと思います。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

平成30年に入局させていただきました金房雄飛と申します。

初期研修は神奈川県の伊勢原協同病院で2年間の研修をさせていただきました。学生時代から小児科を志しており、その気持ちは変わらず小児科に進みました。

後期研修は1年目から2年目の8月まで、川口市立医療センターでの小児科研修医プログラムとして小児科での研修を行っています。上級医の先生方に多くのご指導いただき、小児科としての心構えを学びました。忙しい毎日でしたが、とても充実している日々です。9月からは同院のNICUにて研修に励む予定です。

まだまだ未熟でご迷惑をお掛けすることも多々あると思いますが、初心を忘れず、子供と家族ともに信頼される小児科医を目指して精進する所存です。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



金子 千夏

出身大学：
北里大学

卒業年：
平成 28 年

初期研修病院：
北里大学病院



桐野 玄

出身大学：
東京医科歯科大学

卒業年：
平成 28 年

初期研修病院：
東京医科歯科大学プログラム

平成30年に入局させていただきました金子千夏と申します。後期研修1年目は川口市立医療センターのNICU、2年目は川口市立医療センターの小児科で研修させていただいております。

初期研修は北里大学病院で行い、3年目以降は新しい環境下で研修を行いたいと考え見学を幾つかの病院に行かせていただきました。グループが決定していない私にとっていくつものグループが存在し、各々のグループをローテートできることはとても魅力的であり、東京医科歯科大学病院に入局させていただくことにしました。東京医科歯科大学の医局はアットホームな環境であり、他大学出身の私に対しても快くご指導してくださいます。

進路を決定する際には小児科または麻酔科で悩みましたが、子供が好きという気持ちで小児科を選択しました。自分が慣れ親しんだ環境とは異なる場所での研修から始まり、初期研修中に小児科を2ヶ月しかローテートしていなかったため、ほとんどわからないことばかりで毎回の一人当直も不安ばかりですが、上級医の先生方に熱心に御指導して頂き大変感謝しております。至らない点も多くありますが、現在は毎日大好きな子供たちに携わることができているため小児科を選択してよかったと心から思っております。

まだ所属するグループは決めていませんが、まずは少しでも早く1人前の小児科医となれるよう精進して参りたいと思っております。今後ともご指導のほど宜しくお願ひ致します。

東京医科歯科大学小児科に入局しました桐野 玄（きりの しづか）です。千葉県浦安市出身、学生時代は囲碁やバドミントンをしていました。趣味は野球（阪神ファン）、サッカーなどのスポーツ観戦です。

医科歯科大学小児科との出会いは、大学3年次の小児科講義でした。もともと子どもが好きなため小児科には漠然と興味がありました。しかし、小児特有の成長という現象、多様な遺伝子疾患といった学術的な面白さ、また患者1人1人を医学的にだけではなく総合的に診ていくことを知り、より強く興味を持ちました。大学4年次のプロジェクトセメスターでは発生発達病態学分野の内分泌グループで基礎研究の一部を経験すると共に、度々臨床の場へも連れ出していただいたことで、小児科医となることを決意しました。医療を通して、子どもたちがより健康に成長していくことを支えていきたいと思っています。

初期研修は小児科重点コースで1年目に土浦協同病院、2年目に大学で研修し、医師としての基礎を学びました。大学で各専門分野の患者たちを診たことは、大変貴重な経験となりました。医師3年目、小児科医としての1年目は武藏野赤十字病院で過ごしました。現在は東京北医療センターで勤務し日々研鑽に励んでいます。小児科の範囲は非常に広く、知らないことばかりに遭遇する毎日です。更にsubspecialityを小児内分泌分野に決めたので、今後は専門分野の知識や経験も積んでいきたいと考えています。

これまで多くの先生方に教えていただき、少しずつ成長できているかと思います。今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひします。



小西 愛美

出身大学：
新潟大学

卒業年：
平成 28 年

初期研修病院：
川口市立医療センター

平成30年度に入局させていただきました、小西愛美と申します。後期研修1年目は東京北医療センター、2年目は大学で研修させていただいております。

もともとこどもが好きで、学生の頃から小児科は将来の選択肢として視野に入れておりましたが、優柔不断な性格から進路については初期研修2年目夏のぎりぎりまで悩みました。最終的には可能性の塊であるこどもたちの役に少しでも立てればと思い、初期研修先でご縁のあった医科歯科の小児科に入局し働くさせていただくことになりました。後期研修1年目は東京北医療センターで1年間、一般小児中心に学ばせていただきました。当直の際など未熟さ故に上級医の先生方にはご迷惑をおかけすることも多かったことと思いますが、優しく見守っていただき様々な経験を積むことができました。

現在は大学での研修で各グループを回りながら勉強不足を痛感する日々ですが、身になるよう精進していくたいと思います。至らない点も多くありますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



友政 弾

出身大学：
新潟大学

卒業年：
平成 28 年

初期研修病院：
自治医科大学附属病院

初めまして。卒後4年目の友政弾と申します。

後期研修1年目は土浦協同病院で研修させていただきました。2年目は最初の3か月は引き続き土浦協同病院で、次の3か月は派遣というかたちで、茨城県立こども病院で研修をさせていただくこととなっております。その後は東京医科歯科大学病院で研修させていただく予定です。

私が医科歯科大学に入局させて頂いたきっかけですが、私は以前から将来は全身疾患をみたいなとぼんやりと考えていました。そんな中で、初期研修で臨床経験を積んでいき、多くの疾患に免疫が関わっていると感じるようになりました。そこで、免疫に力を入れている病院で働いてみたいと考えていたところ、東京医科歯科大学病院のお話を聞き、ぜひこちらで働きたいと思い入局させていただきました。

当初から私は早めに大学院に進学し研究をしたいという思いがありました。入局時からそのようなお話をさせていただき、研修内容などご配慮いただいている。臨床経験がどうしても不足してしまうと思われますが、土浦協同病院で研修させていただき、大変貴重な症例を多く経験させていただくことができました。現在は茨城県立こども病院で研修させていただいていますが、前病院では経験ができなかった症例を経験したり、こども病院の独特な雰囲気にも触れることができ、大変勉強になっております。

まだまだ知識が浅く、日々自分の無力を感じております。ただ、先生方には大変熱心にご指導頂いておりますので、ぜひ報いることができるよう努力していきたい所存です。今後ともよろしくお願い致します。



長原 慧

出身大学：
東京医科歯科大学
卒業年：
平成 28 年
初期研修病院：
東京医科歯科大学プログラム

はじめまして。平成30年度に小児科に入局させていた
だいた長原慧と申します。

自身の持病があり、幼少期から病院で小児科にお世話
になることが多く、医者の先生方にはとてもお世話になっ
ておりました。小さい頃は何かにつけてわがままを
いい、迷惑をかけるこどもあり、根気よく面倒をみて
くれた小児科の先生方には今でも感謝してもしきれな
いです。そんな中、将来を考えた際に、自身も同じよう
にこども達をみていける小児科という道がいいと考え、医
師となり小児科医となることを決めました。自身の経験
も活かし、こども達へと真摯に向き合い、信頼される小
児科医を目指しております。そして、出身校である東京
医科歯科大学小児科に入局させていただきました。

初期研修を土浦協同病院と東京医科歯科大学附属病院
で行わせていただき、初期研修2年目では小児科を半年
近く回らせていただきました。専門性の高い内容を早期
からみさせていただきとても刺激的で勉強になったと
思っております

後期研修1年目では土浦協同病院で一般小児とNICUで
研修を行わせていただき、新生児から年長児まで幅広く
様々な経験を積むことができ、とてもありがたく感じて
おります。また、上級医の先生方も懇切丁寧に指導をして
くださり、大変感謝しております。少しずつ確実に小
児科医としての下地を積み、患者からもスタッフからも
信頼される小児科医となれるよう努力していきたいと思
います。

まだまだ未熟者ではありますが、一人前の小児科医と
してしっかり成長していくように、今後ともご指導ご
鞭撻の程よろしくお願ひいたします。



平田 航

出身大学：
広島大学
卒業年：
平成 28 年
初期研修病院：
東京医科歯科大学プログラム

平成30年度に入局させていただきました、平田航と申
します。

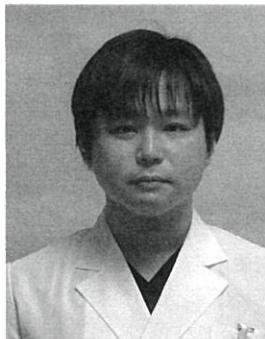
出身は大阪で、大学時代は広島で過ごしました。大学
の自己紹介の時には必ずどちらのお好み焼きが好きかを
聞かれましたが、結局両方美味しいです。野球には縁が
ありませんでした。

人の一生と真面目に向き合える職業、自分や他人に嘘
をつかずにすむ職業、につきたかったことから医師を目指し、医学部に入学しました。小児科を志すようになったのは大学時代からです。大学で臓器別の授業を受けていましたが、自分が特別関心を持つ分野はありませんでした。「病気を診る」より「人を診る」というようなスタンスを望む自分が小児科という分野に惹かれていったのは当然であったと思います。

初期研修は東京医科歯科大学のプログラムにお世話に
なりました。1年目は土浦協同病院で一般診療を、2年目
は東京医科歯科大学附属病院で小児の専門診療を研修さ
せていただきました。優秀な同期達と切磋琢磨し、様々な
ことを学べたとても有意義な初期研修でした。

後期研修1年目は草加市立病院で働かせていただきました。
初めて主治医として患者・両親と接することになり、戸惑いも
ありました。周りの先生方に支えられながら我武者羅に頑張
っていた1年は本当に早く過ぎ去りました。2年目の現在は土浦協同病院で働かせて頂いています。毎日新しい気づきがあり、充実した日々を過ごしております。

まだまだ至らない点が多く、ご迷惑をおかけする事も
多々あると思いますが、少しでも早く一人前の小児科医
になれるように精進しますので、今後ともご指導ご鞭撻
のほどよろしくお願い申し上げます。



布施 譲嗣

出身大学：
東京医科歯科大学
卒業年：
平成 28 年
初期研修病院：
東京医科歯科大学プログラム

平成30年度に入局させていただきました布施譲嗣と申します。平成28年に東京医科歯科大学を卒業し、小児科重点プログラムで1年目は土浦協同病院、2年目は東京医科歯科大学で初期研修を行いました。市中・大学の小児科を初期研修医という立場ではありますが、経験することができました。その後、東京ベイ・浦安市川医療センターにて小児科医としての一歩を踏み出すことができました。はじめは責任がこうも違うのかと、主治医として診療にあたることの大変さを目の当たりにし、戸惑い悩む日々の連続でした。しかし、上級医の先生方の丁寧なご指導、ご助力により、未熟ながらもなんとか目の前の子どもひとりひとりと向き合いながら、診療に携わることができました。当直や外来、学会発表、細々とした些事に至るまで、多大なるご迷惑を方々におかけしながらの後期研修1年目でしたが、小児科医としてのやりがいというものを、徐々にではありますが実感として肌身に感じることができるようにになってきたと思っております。これもひとえに自分のような輩にも親身に辛抱強く接していただいた先生方のおかげです。将来のことを考える余裕もまだないのですが、まずは1人前的小児科医としてやっていけるよう、日々の研鑽を積んでいく所存です。

平成31年度は川口市立医療センター小児科で後期研修を継続させていただいております。分からぬことが山積みの中、手探りではありますが、お力添えを頂きながら、すこしでも子どもの笑顔に繋がるような診療ができればと思っております。至らない点ばかりですが、精進して参ります。今後ともご指導、ご鞭撻のほど、宜しくお願ひ申し上げます。



保志 ゆりか

出身大学：
群馬大学
卒業年：
平成 28 年
初期研修病院：
東京医科歯科大学プログラム

平成30年度に入局させていただきました保志ゆりかと申します。

もともと子どもが好きで、医学部に入学したときから最も興味があったのは小児科でした。研修医の間に他科と進路に迷ったことはありましたが、小児を総合的に診ることに魅力を感じて小児科に進むことを決めました。

小児科医として3年目に働き始めたのは土浦協同病院のNICUでした。自分が知っていると思っていた小児科の世界とは全く違っており、初期研修時代との違いに当初は悩むことも多くありましたが、先生方の丁寧なご指導のおかげで1年を通して充実した研修をさせていただきました。症例も外科症例から超低出生体重児まで幅広く、社会的背景も様々であり、症例から親へのICの仕方まで毎日のように学ぶことがありました。

4年目の現在は土浦協同病院の小児科で各チームをローテートさせていただいております。一から勉強し直すことも多く、当直や外来もいまだに不安なことが多いですが、上級医の先生方のご指導と優しさに助けられながら研修をしております。新生児科と異なり子どもの回復の早さに驚かされる毎日ですが、元気に退院していく子どもたちを見て改めて頑張ろうと思い日々を過ごしています。

小児科も新生児科も興味深く、今後の進路についてはまだ決められていませんが、たくさんのこと学ばせていただきながら少しでも役に立つ小児科医になれるように日々精進していきたいと思っております。目の前に手一杯になりやすいため、先生方には多々ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願ひいたします。



真柄 達也

出身大学：
弘前大学

卒業年：
平成 28 年

初期研修病院：
十和田市立中央病院

平成30年度に入局させていただきました真柄達也と申します。出身は茨城県で、平成28年に弘前大学を卒業しました。

私は幼い頃、喘息で小児科の先生にお世話になった経験から、今度は自分が小児科医として貢献したいと考え医学部を目指しました。初期研修は実習で良き師に巡り合えたことと、成人の分野も学んでおきたいと思い、出身大学のある青森県で行いました。人手も十分ではなく、診療科によっては拠点病院にしかないなどの特徴もあり、特に長い距離の転院搬送などでは怖い場面も多々ありました。しかし、そうした地域医療に触れる中で心身ともに鍛えられたと思います。

現在は総合病院土浦協同病院で研修させていただいております。後期研修1年目は1年間小児科で、2年目は4月から新生児科でお世話になっております。頻度の高い疾患から比較的珍しい疾患まで幅広く、経験させていただいておりますが、私自身未熟なためついていくのに必死です。また、小児科と新生児科は全く違う分野であることに加え、新生児は診療するのが初めてということもあります。日々戸惑うことが多いですが、どちらの科でも指導医の先生方に優しく丁寧にご指導いただき、充実した日々を過ごしております。

見る分野すべてが面白く感じてしまい目移りしてしまうこともあります。将来の専門分野は未定ですが、研修を通じて見極めてまいりたいと思います。

まだまだ至らぬ点も多く、要領も悪いため、ご迷惑をおかけすることもあります。あろうかと思いますが、日々努力してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

